

各関係機関の長  
各病害虫防除員 殿

宮崎県病害虫防除・肥料検査センター所長

令和7年度病害虫発生予察注意報第3号について

令和7年度病害虫発生予察注意報第3号を発表したので送付します。

### 令和7年度病害虫発生予察注意報第3号

**かんきつのミカンハダニの発生が多くなっています。防除対策の徹底を図りましょう。**

- 1 病害虫名 : ミカンハダニ
- 2 作物名 : かんきつ
- 3 発生地域 : 県下全域
- 4 発生量 : 多

#### 5 注意報の根拠

- 1) 7月中旬の巡回調査の結果、ミカンハダニの発生面積率は50.0%（平年12.9%）、寄生葉率は27.9%（平年2.9%）で、いずれも平年比多であった（図1、図2）。
- 2) 7月の発生面積率、寄生葉率は過去10年間で最も高い（図3、図4）。
- 3) 向こう1か月の降水量は平年並か多いものの、気温はほぼ平年並と予想されており（鹿児島地方气象台1か月予報 7月24日発表）、本害虫の発生が助長される恐れがあり、注意が必要である。

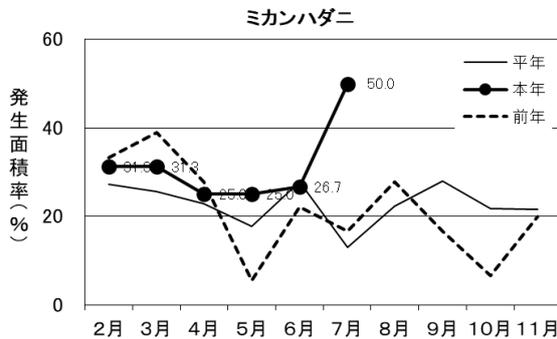


図1 月別発生面積率の推移

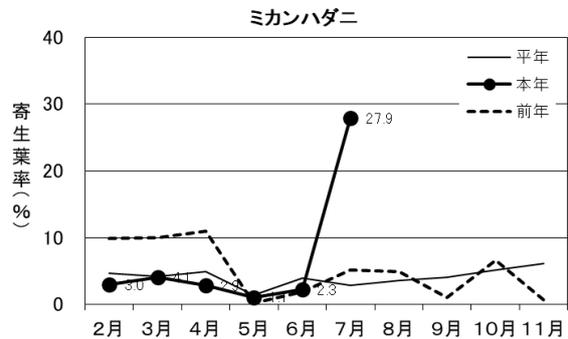


図2 月別寄生葉率の推移

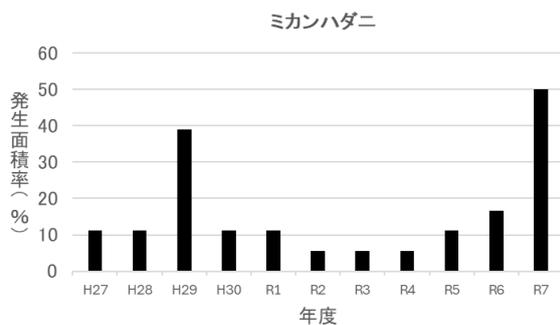


図3 年度別発生面積率の推移

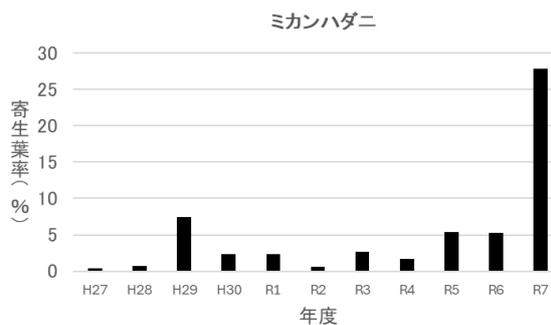


図4 年度別寄生葉率の推移

## 6 防除上の注意

- 1) ミカンハダニの防除適期は寄生葉率が30%(一葉当たり0.5~1頭)の増殖初期である。多発すると薬剤の効果は劣り、防除回数の増加、ハダニの薬剤抵抗性の獲得につながるため、散布時期を失わないように注意する。
- 2) 葉の両面に寄生するので、薬剤がまんべんなくかかるように十分量散布する。
- 3) 同一系統薬剤の連用は避け、異なる系統の薬剤でローテーション散布に努める。
- 4) 農薬を使用する際は、必ず容器のラベルの登録内容を確認し、使用基準を遵守する。

## 7 その他

6月1日から8月31日の3か月間は、農薬危害防止運動を実施しています。農薬散布にあたっては、ラベルの登録内容の確認を十分に行い、農薬使用基準を遵守し、危害防止に努めましょう。

### 《連絡先》

宮崎県総合農業試験場病害虫防除・肥料検査課  
(病害虫防除・肥料検査センター) 山口、後藤

TEL: 0985-73-6670 FAX: 0985-73-2127

E-mail: byogaichu-hiryo@pref.miyazaki.lg.jp

HP: [https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi\\_byogai/index.html](https://hinatamafin.pref.miyazaki.lg.jp/soshiki/noshi_byogai/index.html)

